

日産車体株式会社

2024年度 第3四半期決算説明

(2025年3月期)



2025年2月

決算サマリー

当社グループを取り巻く環境は、原材料価格の高騰や需要の変動など、先行き不透明な状況が続いている。

このような環境において、前年同期比で売上台数は減少したものの、前型車に比べ売上台数の高い新型車の売上台数が増加したことにより増収。一方、上期に発生した新型車の生産に要した追加コスト等の影響により減益となった。

売上台数

北米向け「新型インフィニティQX80」を2024年4月に生産開始したことにより増加したものの、主に「パトロール(Y61、UY61)」の生産が終了したことにより、前年同期と比べ2.6%減少の107,320台

売上高

売上台数は減少したものの、前型車に比べ売上台数の高い「新型インフィニティQX80」や「新型パトロール」、「新型アルマーダ」の増加等により、8.2%増加の2,511億円

営業利益

当第3四半期において「新型アルマーダ」が立ち上がったこと等により上期に比べて改善したものの、当第3四半期連結累計期間では上期に発生した新型車の生産に要した追加コスト等の影響により前年同期と比べ24.8%減少の22億円

経常利益

17.8%減少の27億円

親会社株主に帰属
する四半期純利益

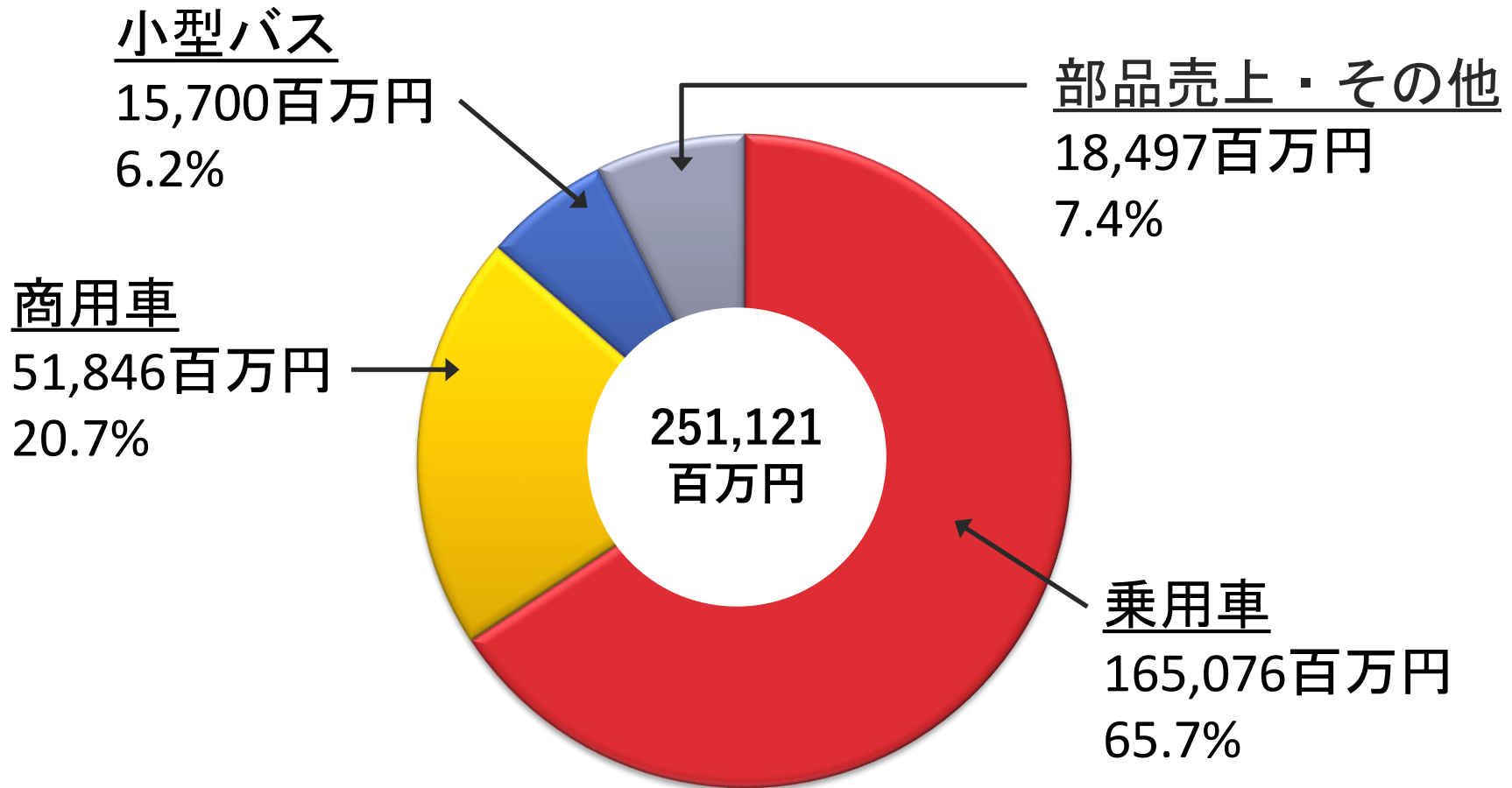
15.1%減少の17億円

業績ハイライト

単位:百万円

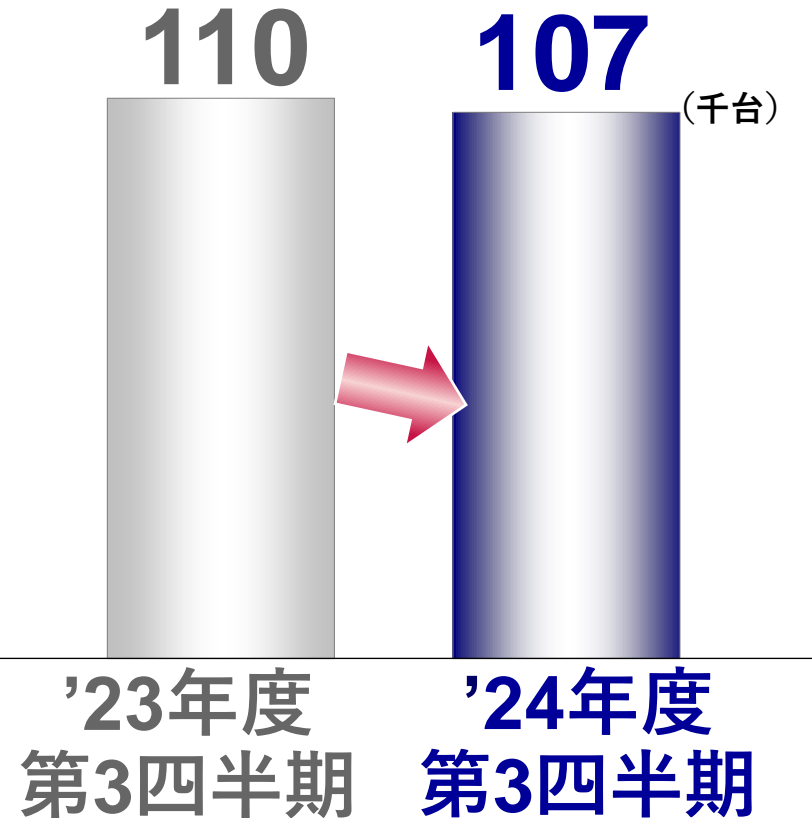
	2023年度 第3四半期 (2023/4~12)	2024年度 第3四半期 (2024/4~12)	増減額(率)		通期計画
売上高	232,101	251,121	19,020	8.2%	351,300
営業利益	2,991	2,250	▲ 741	▲24.8%	4,400
経常利益	3,296	2,709	▲ 587	▲17.8%	4,900
親会社株主に帰属する 四半期純利益	2,033	1,727	▲ 306	▲15.1%	2,400

製品別売上高構成比



売上台数

主に「パトロール(Y61、UY61)」の生産が終了したことにより、前年同期と比べ2.6%減少の107,320台

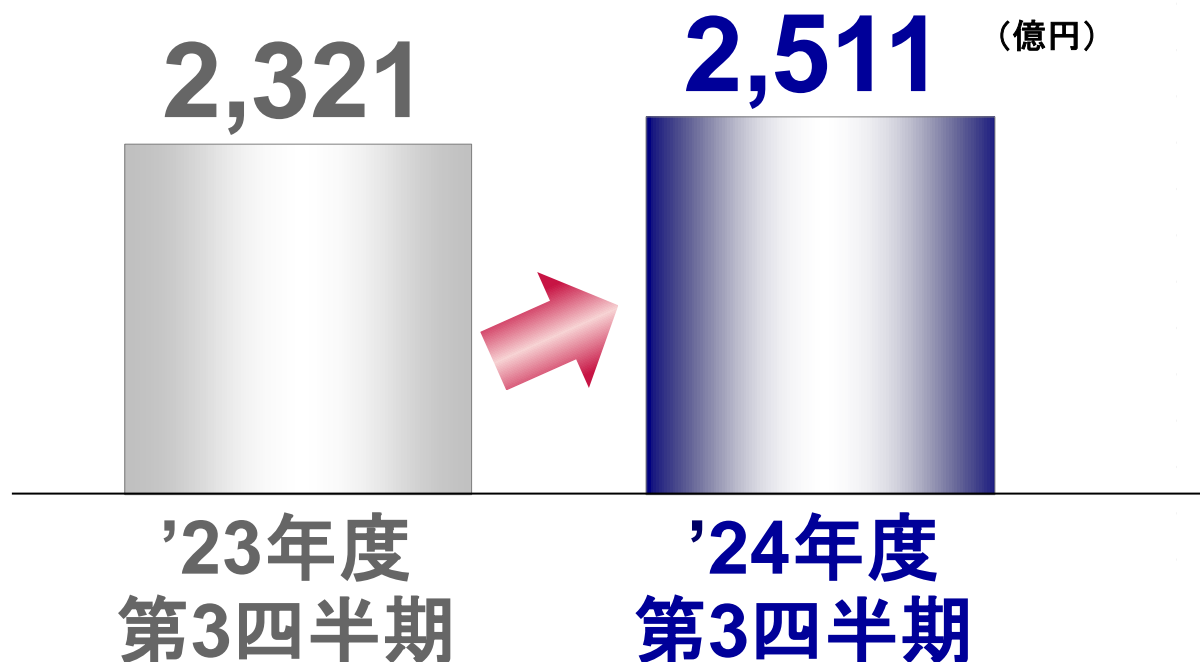


(千台)

	前期実績	当期実績	増減率
乗用車	60	57	▲5.9%
商用車	40	40	0.8%
小型バス	10	10	3.9%
合計	110	107	▲2.6%

売上高

売上台数は減少したものの、前型車に比べ売上価格の高い「新型インフィニティQX80」や「新型パトロール」、「新型アルマーダ」の増加等により、8.2%増加の2,511億円

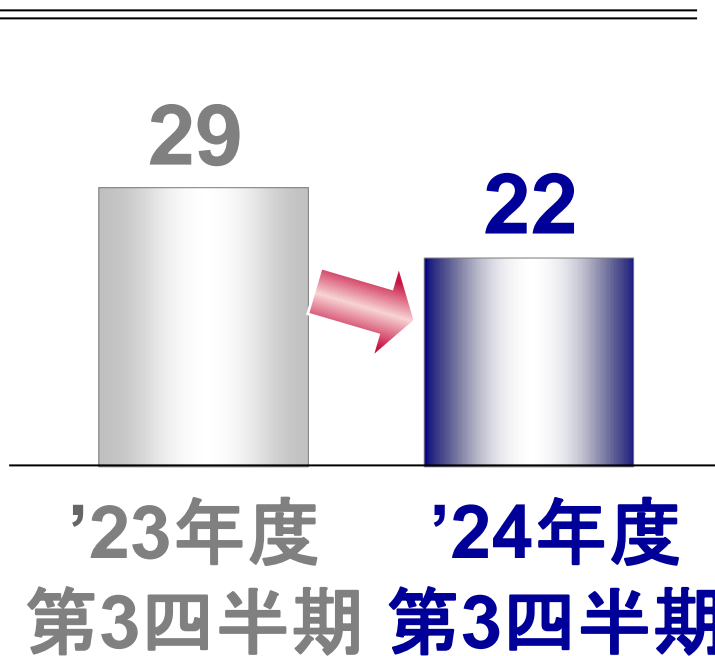


営業利益／経常利益

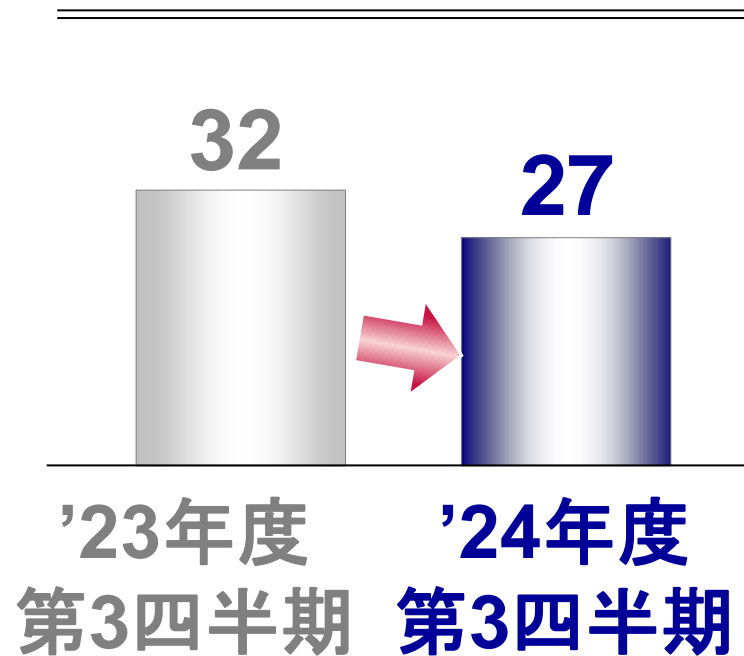
営業利益は当第3四半期において「新型アルマーダ」が立ち上がったこと等により上期に比べて改善したものの、当第3四半期連結累計期間では上期に発生した新型車の生産に要した追加コスト等の影響により前年同期と比べ24.8%減少の22億円

経常利益は17.8%減少の27億円

営業利益 (億円)

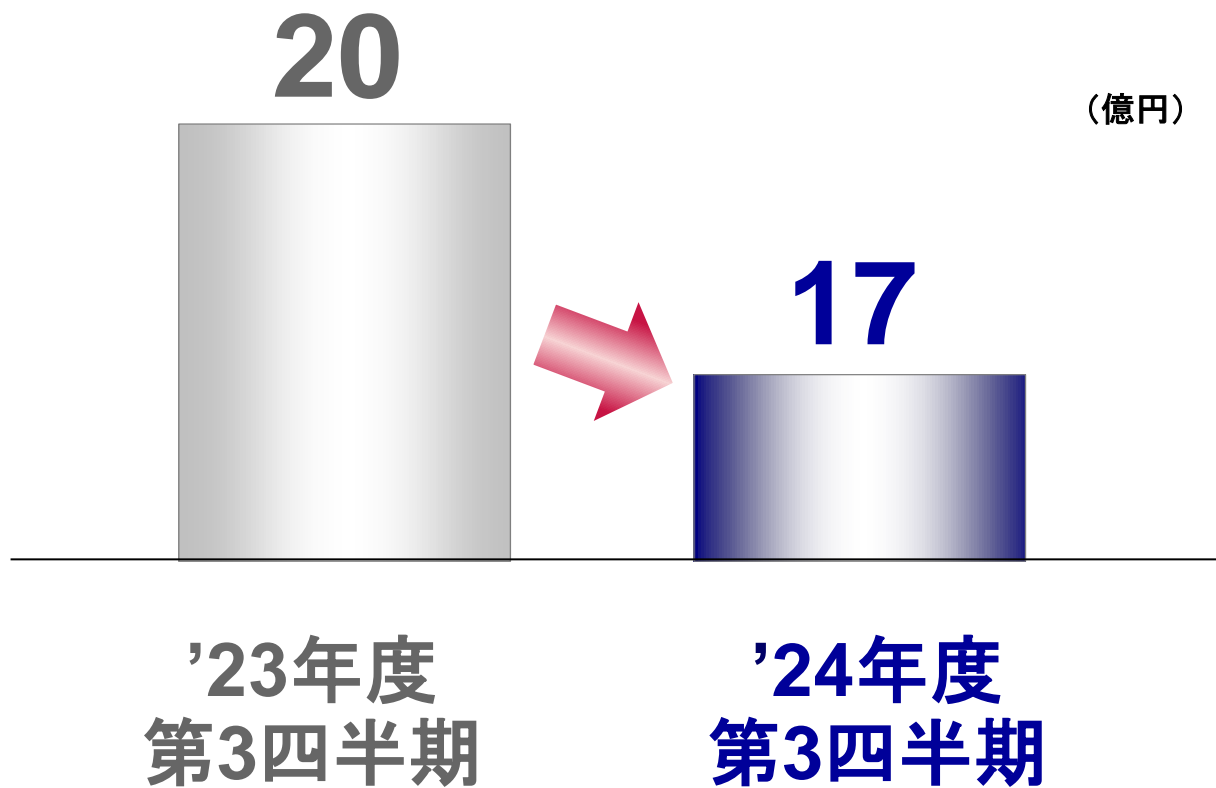


経常利益 (億円)



親会社株主に帰属する四半期純利益

15.1%減少の17億円



2024年度 1株当たり配当金

安定配当を継続する基本方針のもと、2025年3月期は年間13円を予定

■ 中間配当金 ■ 期末配当金

